2023年5月29日

2022年度

# 事業報告書

自2022年4月　1日
至2023年3月31日

＜本編＞

Ⅰ. 法人の概要 ―― 1
Ⅱ. 事業の概要 ―― 5

学校法人近畿医療学園
大阪市北区西天満5丁目3番10号

# Ⅰ．法人の概要

## 1．建学の精神

確かな技術と共に社会奉仕の精神を養い、人格共々優秀な人材の育成を目指します。

## 2．学校法人の沿革

| | |
|---|---|
| 平成20年（2008）3月 | 大阪府より学校法人近畿医療学園の認可を受ける |
| | 大阪府より近畿医療専門学校設置の認可を受ける |
| | 大阪府より柔道整復師養成施設の承認を受ける |
| 平成20年（2008）4月 | 柔道整復学科昼間部、夜間部開設 |
| 平成23年（2011）3月 | 柔道整復学科第１期生卒業 |
| 平成23年（2011）3月 | 大阪府よりはり師・きゅう師養成施設の承認を受ける |
| 平成23年（2011）4月 | 鍼灸学科昼間部Ⅰ、昼間部Ⅱ開設 |
| 平成26年（2014）3月 | 鍼灸学科第１期生卒業 |
| 平成27年（2015）4月 | 鍼灸学科夜間部開設 |
| 平成30年（2018）4月 | 柔整学科・鍼灸学科夜間部閉鎖 |
| 令和3年　（2021）4月 | 柔整学科昼間部スポーツ科学コース開設 |

## 3. 設置する学校・学部・学科等

| 法人の名称 | | 学校法人近畿医療学園 | | 事務所の所在地 | | 大阪府大阪市北区西天満<br>5丁目10番3号 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学校名 | 課程名 | 学科名 | 学部 | 修業年限 | 入学定員 | 1学年の<br>学級数 | 備考 |
| 設置する学校 | 近畿医療専門学校 | 医療専門課程 | 柔道整復学科 | 昼間部 | 3 | 60 | 2 | 午前 |
| | | 医療専門課程 | 柔道整復学科 | 昼間部 | 3 | 30 | 1 | 午後 |
| | | 医療専門課程 | 柔道整復学科 | 昼間部 | 3 | 30 | 1 | スポーツ科学<br>コース |
| | | 医療専門課程 | 鍼灸学科 | 昼間部 | 3 | 30 | 1 | 午前 |
| | | 医療専門課程 | 鍼灸学科 | 昼間部 | 3 | 30 | 1 | 午後 |

## 4. 施設等の状況

| 学校名（所在地） | 校地現有面積 | 校舎現有面積 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 近畿医療専門学校<br>（大阪市北区西天満5丁目3番10号） | ㎡<br>698.14 | ㎡<br>4102.27 | |
| | | ㎡<br>87．81<br>（臨床実習施設） | |

## 5. 役員の概要

【理事・監事】

（2023年2月1日現在）

| 役　員 | 氏　名 | 役員就任日 | 寄付行為上の専任区分 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 理事 | 小林英健 | 平成 20 年 5 月 | 第 6 条第 2 号 | 理事長 |
| 理事 | 清原伸彦 | 令和 3 年 4 月 | 第 6 条第 1 号 | 近畿医療専門学校校長 |
| 理事 | 山本宗弘 | 平成 20 年 4 月 | 第 6 条第 2 号 | 評議員会において選任 |
| 理事 | 北川勝司 | 平成 20 年 4 月 | 第 6 条第 2 号 | 評議員会において選任 |
| 理事 | 小林朋子 | 平成 20 年 4 月 | 第 6 条第 3 号 | 学識経験者 |
| 理事 | 田中順 | 平成 31 年 1 月 | 第 6 条第 2 号 | 評議員会において選任 |
| 理事 | 池之上慎 | 平成 31 年 1 月 | 第 6 条第 2 号 | 評議員会において選任 |
| 理事 | 浜口大介 | 令和 5 年 1 月 | 第 6 条第 2 号 | 評議員会において選任 |
| 監事 | 大澤泰嗣 | 令和 5 年 2 月 | 第 7 条 | 理事会で選出し理事長が選任 |
| 監事 | 伊藤勇二 | 令和 5 年 2 月 | 第 7 条 | 理事会で選出し理事長が選任 |

定員数：理事8名、監事2名

【評議員】

（2023年2月1日現在）

| 役　員 | 氏　名 | 役員就任日 | 寄付行為上の専任区分 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 評議員 | 清原伸彦 | 令和 3 年 4 月 | 第 25 条第 1 号 | 法人の職員 |
| 評議員 | 坂本博 | 平成 31 年 1 月 | 第 25 条第 1 号 | 法人の職員 |
| 評議員 | 西堀健司 | 平成 31 年 1 月 | 第 25 条第 1 号 | 法人の職員 |
| 評議員 | 上野雅洋 | 令和 5 年 2 月 | 第 25 条第 1 号 | 法人の職員 |
| 評議員 | 藤原光 | 令和 5 年 2 月 | 第 25 条第 1 号 | 法人の職員 |
| 評議員 | 宇野耕介 | 平成 31 年 1 月 | 第 25 条第 2 号 | 25 歳以上の卒業生 |
| 評議員 | 京本永寿 | 平成 31 年 1 月 | 第 25 条第 2 号 | 25 歳以上の卒業生 |
| 評議員 | 森下和幸 | 令和 4 年 4 月 | 第 25 条第 2 号 | 25 歳以上の卒業生 |
| 評議員 | 小林栄美 | 平成 31 年 1 月 | 第 25 条第 2 号 | 25 歳以上の卒業生 |
| 評議員 | 小林幸司 | 令和 5 年 2 月 | 第 25 条第 2 号 | 25 歳以上の卒業生 |
| 評議員 | 小林英健 | 平成 20 年 5 月 | 第 25 条第 3 号 | 学識経験者 |
| 評議員 | 山本宗弘 | 平成 20 年 4 月 | 第 25 条第 3 号 | 学識経験者 |
| 評議員 | 北川勝司 | 平成 20 年 4 月 | 第 25 条第 3 号 | 学識経験者 |
| 評議員 | 小林朋子 | 平成 20 年 4 月 | 第 25 条第 3 号 | 学識経験者 |
| 評議員 | 田中順 | 平成 31 年 1 月 | 第 25 条第 3 号 | 学識経験者 |
| 評議員 | 池之上慎 | 平成 31 年 1 月 | 第 25 条第 3 号 | 学識経験者 |
| 評議員 | 浜口大介 | 令和 5 年 1 月 | 第 25 条第 3 号 | 学識経験者 |

定員数17名（1号：5名　　2号：5名　　3号：7名）

●理事会・評議委員会

評議委員会　　2022/5/30（決算）、2022/7/9、2023/1/20、2023/3/22（予算）

理事会　　2022/5/30（決算）、2022/7/9、2023/1/20、2023/3/22（予算）

## 6. 教職員の概要

●専門学校・診療所　　（2022年5月1日現在）

| 区分 | 専任 | 兼任 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 教員 | 21 | 26 | 47 |
| 職員 | 14 | 0 | 14 |
| 診療所職員 | 0 | 2 | 2 |
| 合計 | 35 | 28 | 63 |

●専門学校・診療所　　（2021年5月1日現在）

| 区分 | 専任 | 兼任 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 教員 | 20 | 23 | 43 |
| 職員 | 13 | 0 | 13 |
| 診療所職員 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | 34 | 23 | 57 |

## 7. その他

●主な加盟団体

| | 加盟団体 | 部門 | 主管部署 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会 | 専門学校 | 法人本部 | 学校関係 |
| 2 | 公益社団法人全国柔道整復学校協会 | 専門学校 | 法人本部 | |
| 3 | 公益財団法人全日本柔道連盟 | 専門学校 | 法人本部 | |
| 4 | 全日本実業柔道連盟 | 専門学校 | 法人本部 | |

# Ⅱ．事業の概要

## 1．国家試験結果

●鍼灸学科国家試験結果

| | | 受験者数 | 合格者数 | 不合格者数 | 合格率% | 全国合格率% |
|---|---|---|---|---|---|---|
| はり師 | **新卒** | **34** | **34** | **0** | **100.0** | **85.5** |
| | 既卒 | 8 | 0 | 8 | 0.0 | 9.8 |
| | 総数 | 42 | 34 | 8 | 81.0 | 70.4 |
| きゅう師 | **新卒** | **34** | **34** | **0** | **100.0** | **85.9** |
| | 既卒 | 7 | 0 | 7 | 0.0 | 8.9 |
| | 総数 | 41 | 34 | 7 | 82.9 | 71.7 |

新卒においては、36 名中 2 名の卒業延期者を除き、はり師 34 名きゅう師 34 名が合格し、100%の合格率を出すことができた。例年安定した合格率を保っているが、実力試験を基にした下位者への個別面談や補講が合格率につながっていると考える。一方、既卒の合格者は 0 であるのでここを上げる事が今後の課題だと考える。総数の合格率においては全国平均をやや上回る結果となった。

●柔整学科認定実技試験結果
82名受験し82名合格。うち1名は当日欠席したが、後日再試験にて合格となった。

●柔整学科国家試験結果

| | | 受験者数 | 合格者数 | 不合格者数 | 合格率% | 全国合格率% |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 柔道整復師 | **新卒** | **55** | **18** | **37** | **32.7** | **65.4** |
| | 既卒 | 46 | 4 | 42 | 8.7 | 11.5 |
| | 総数 | 101 | 22 | 79 | 21.8 | 49.6 |

新卒の合格率は 32.7%で昨年比では 32.6 ポイント下がり、総数では 21.8%となり昨年比では 18 ポイント下がった。新卒の合格率は全国平均より低い。既卒の合格率は低いが、昨年比では 1 ポイント上がる結果となった。
3 限目を用いた補講対策や成績下位者に対する国試対策合宿等を行ったが、結果を出すことができなかった。3 年時のみの国家試験対策では対応できない試験となってきたことも踏まえ、2 年生・1 年生に対する補講強化や国家試験対策を意識した授業内容および学習意欲を上げるためのマインドセットを行ってきた。次年度に向けて、新たな必修対策の検討、学習効果を確認していく授業内容など、国家試験対策の充実を図っている。

## 2、退学者・留年者数

●退学者数

| | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 鍼灸学科 | 8 | 3 | 3 | 14 |
| 柔道整復学科 | 14 | 4 | 12 | 30 |
| 合計 | 22 | 7 | 15 | 44 |

●留年者数（うち復学者）

| | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 鍼灸学科 | 1(1) | 2 | 1(1) | 4(2) |
| 柔道整復学科 | 1 | 6 | 2(1) | 9(1) |
| 合計 | 2(1) | 8 | 3(2) | 13(3) |

昨年度 38 名の退学者より今年は約 1.5 割増の 44 名となった。学力不振による留年で、奨学金を利用できない等の経済的な理由で退学を決めた学生が 11 名いる。学力不振や就学意欲の低下で進路変更する学生もおり、学生のモチベーションを高く持ち続ける事が出来るような新たな取組みが必要である。

## 3、会議

●教職員会議

・柔道整復学科会議（21回）・鍼灸学科会議（13回）・広報会議（6回）・校務運営会議（13回）

・教職員全体会議（4回）

上記の他、毎日12時35分より昼礼を実施し、報告と情報共有、教職員の教育の場としている。

また教職員全体会議を、定例では四半期に一度、必要に応じて臨時で開催し、建学の精神の確認の他、毎回理事長、校長のお話、数値の共有を通して、学校の現在地と進む方向性を確認している。またそれを踏まえた各部署の分科会等を実施し、各部の目標、行動を立案し、同時に学校全体の一体感を醸成することができたと考える。

## 4. 年間行事

●新入生宿泊オリエンテーション

2022年度入学者の新入生オリエンテーションを、4月8日(木)・9日(金)の1泊2日で開催した。

初めての試みで、本校の基本理念や挨拶等基本的な学校生活について校長から訓示があった。また各学科に分かれての勉強方法や目標の話し合い、出身地ごとに分かれてのグループミーティング等行った。この合宿の開催により学生同士、また学生と教職員の繋がりが深まり、学生の学習意欲向上と学校全体の前向きな雰囲気づくりに大いに寄与するものとなったと考える。

●スポーツ大会

6月17日（土）にＲＡＣＴＡＢドームにて3年ぶりに開催し、学生同士や学生・教職員の懇親の場となり大変盛り上がった。

●学園祭

10月9日（日）に3年ぶりに開催し、各学科のイベントなどで、学内外の交流を深める為にも良い機会となった。

●同窓会

コロナの影響により開催を見送った。

## 5. 部活動

●柔道部

コロナが収束に向かい、小林理事長、清原校長の思いのもと柔道部が再始動した。柔道部は、近畿医療専門学校の３つの理念である「社会貢献」「人材育成」「奉仕の精神」を日頃から意識し活動している。

活動にあたり心がけていることは、勉学を最優先するということ。そのため活動は週に２回、約１時間半に限定して練習している。しかしその中でも、所属する学生が全日本実業柔道体重別選手権大会の個人戦においてベスト８という成果を挙げることができたことで部内に活気をもたらした。

## 6．生徒募集

●入学者数（年度対比）

| | 期 | 柔整午前 | 柔整午後 | 柔整夜 | 小計 | 鍼灸午前 | 鍼灸午後 | 鍼灸夜 | 小計 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H20年度 | 柔1 | | 60 | 14 | 74 | | | | 0 | 74 |
| H21年度 | 柔2 | | 60 | 41 | 101 | | | | 0 | 101 |
| H22年度 | 柔3 | | 57 | 32 | 89 | | | | 0 | 89 |
| H23年度 | 柔4・鍼1 | | 42 | 40 | 82 | 21 | 22 | | 43 | 125 |
| H24年度 | 柔5・鍼2 | | 37 | 17 | 54 | 21 | 20 | | 41 | 95 |
| H25年度 | 柔6・鍼3 | | 59 | 21 | 80 | 13 | 11 | | 24 | 104 |
| H26年度 | 柔7・鍼4 | | 36 | 10 | 46 | 12 | 9 | | 21 | 67 |
| H27年度 | 柔8・鍼5 | | 61 | 7 | 68 | 17 | 11 | 16 | 44 | 112 |
| H28年度 | 柔9・鍼6 | | 62 | 7 | 69 | 14 | 28 | 9 | 51 | 120 |
| H29年度 | 柔10・鍼7 | 23 | 31 | 13 | 67 | 22 | 23 | 17 | 62 | 129 |
| H30年度 | 柔11・鍼8 | 31 | 21 | | 52 | 9 | 8 | | 17 | 69 |
| H31年度 | 柔12・鍼9 | 55 | 32 | | 87 | 14 | 30 | | 44 | 131 |
| R2年度 | 柔13・鍼10 | 58 | 36 | | 94 | 16 | 30 | | 46 | 140 |
| | | 柔整午前 | 柔整午後 | スポーツ科学 | 小　計 | 鍼灸午前 | 鍼灸午後 | | 小　計 | 合　計 |
| R3年度 | 柔14・鍼11 | 39 | 14 | 22 | 75 | 29 | 29 | | 58 | 133 |
| R4年度 | 柔15・鍼12 | 53 | 11 | 11 | 75 | 23 | 30 | | 53 | 128 |
| R5年度 | 柔16・鍼13 | 55 | 18 | 14 | 87 | 27 | 30 | | 57 | 144 |

●オープンキャンパス

当初予定の年間38回、社会人対象に、平日ナイトオープンキャンパスを7回追加で開催した結果、232名の来校者（前年187名）と個別相談80件（79件）の実績となり、入学者増に繋がった。2月には次年度募集のことも考え、高校2年生向けに相談会も実施し、その効果にも期待したい。

●高校ガイダンス・進学相談会

高校のスポーツ選択クラスや部活単位での、ガイダンスを計14回実施した。昨年度に比べ回数は減少したが、参加した生徒10名が入学した。内容では活法の施術体験、2人組でのストレッチ法、座学では柔整師・鍼灸師、スポーツトレーナーの魅力等の講話、他校とは違う本校の魅力を伝えることに努めた。進学相談会は、高校側からの依頼2校へ参加し、入学に繋がった生徒も出た。

## 7.　教育内容の充実

●柔道整復学科昼間部スポーツ科学コース

最先端のスポーツ科学に基づいた運動能力の測定・分析ができるラボ（研究施設）を設置し、スポーツ医学のノウハウをカリキュラムに取り入れたコース（定員 30 名）として、2021 年度入学生から募集をスタートさせたスポーツ科学コースの 2 期生は 11 名の入学者であった。

座学・実技を含め、多くの事を学び学習し続ける中、退学率も少なく勉強意欲の高いクラスとなりました。

●職業実践専門課程認定

文部科学省による認定審査制度で「職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する」ことが目的であるため、教育課程編成委員会において外部委員の意見を参考に体系的な編成と見直しを行い、キャリア教育の充実を図るべく、関連分野の企業、関係施設や業界団体との連携を単発的なものから取り入れた。併せて学校関係者評価委員会も設置しており、職業教育に対する外部評価を行うことで、その内容を次年度にフィードバックしている。

また年間を通じて、専門分野の実務研修や指導力向上の教員研修、自己啓発研修や企業等が行う研修に参加することで教育内容を充実することが出来た。

## 8.　就学支援制度

●高等教育の修学支援制度の対象校

2020年度より新しく始まった制度で、高校卒業後2年以内の入学生対象ではあるが、高校での申込みが殆どで、対象校であるかどうかが、かなり募集に影響する。2020年度は下記①のみが認定要件に該当したが、2022年度も要件を満たし、引き続き認定を受けることが出来た。

認定により、該当学生の入学金・授業料が減免の対象となり、世帯収入に応じ区分Ⅰ～Ⅲの支援を受けることができる。

当年度は、１年24名、2年24名、3年20名の合計58名（停止者3名含む）が利用者で、国と自治体から年間実績額として27,116,500円の支援を受けた。

① 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における【経常収支差額】が、1カ年でもプラス

② 直前の決算の貸借対照表における【運用資産－外部負債】がプラス

③ 直近3年度の収容定員充足率が、1カ年でも80％以上（段階的に2021年は70％以上、2022年からは80％）

※①～③のうち一つでも要件を満たせば良い。

※停止者とは、毎年9月の日本学生支援機構の家計基準見直しにより支援停止された者。

次年度の家計収入が下がれば支援が復活する可能性がある。

また、10月に大阪府の補助金等執行検査が行われ、学校運営・法人運営概ね問題なし、授業料減免事務全般では問題なしとの講評を受けた。引き続き不備のない事務処理を行っていく。

●内部進学免除制度

柔道整復師と鍼灸師の両資格を取得する事で、外傷だけでなく内臓疾患に対してのアプローチにより治療の幅が広がり、より多くの患者の治療に携わる事が出来る事、またスポーツトレーナーとしても選ばれる確率が上がることなどへの理解が広がり、内部進学者が増加した。内部進学の特典として卒業生及び在校性、さらに入学希望者に対し入学金免除に加え授業料等を半額にすることでダブルライセンスを取得し易い環境にあることをアピールしている。

2023年度入学者で、既卒4名、新卒17名、同時入学4名、1年ずらしが12名、2年ずらしが3名の計40名の利用者がいた。

●専門実践教育訓練給付金制度

社会人向けの専門実践教育訓練給付制度で、2022年度は鍼灸学科午前コース・午後コースが指定されており、午前コースは1年生4名、午後コースは2年生8名、3年生12名が利用していた。

## 9.　社会貢献の充実

●地域貢献

コロナの影響もあり社会福祉協議会等の活動は中止したが、付属治療院へは、地域の方に治療に来て頂いている。

また建物内にあるアローズジムでは、大阪初進出のスポーツ科学塾として、地域のたくさんの子供達が身体能力を上げるために通ってきている。

## 10.　その他

●シンボルマークの変更

2022年4月から「第二創成期」として、学校の新時代を創るという方針が小林英健理事長より示され、その先駆けとして開校以来14年使用してきた丸形のシンボルマークを、帆船を象ったものに変更した。さらにそのシンボルマークをあしらったバッジを教職員全員に貸与し、また学校旗を製作し、新時代の創造への思いを高めた。